

小森はるか監督作品上映会 + 監督対談

ラジオ下神白

しもかじろ

あのとき あのまちの音楽から いまここへ

震災を記録した
ドキュメンタリー映画を語り尽くす

入場無料
予約不要

日時

2023年10月13日（金）18：00～20：00

場所

東工大大岡山キャンパス 西9号館 E棟 2階
デジタル多目的ホール

トークセッションゲスト

小森はるか監督：『空に聞く』

濱口竜介監督：『ドライブ・マイ・カー』

モデレーター

北村匡平（リベラルアーツ研究教育院准教授）

次回のドキュメンタリー映画の魅力vol.2は、「公害を記録したドキュメンタリー映画を語り尽くす」として、2023年10月23日（月）に開催します。

ゲストは、原一男監督（『ゆきゆきて神軍』『全身小説家』『水俣曼荼羅』）です



震災を記録した ドキュメンタリー映画を語り尽くす

震災後の東北に移住し、人々の営みと風景を記録し続けてきた小森はるか監督は、『息の跡』『空に聞く』など傑出したドキュメンタリー映画を撮ってきました。

『ラジオ下神白（しもかじろ）』は、いわき市の復興公営住宅・下神白を舞台に、被災地支援活動をする文化活動家のアサダワタルさんや居住者の方々の関わりを記録したものです。故郷を語り、思い出の曲を歌うこと、一緒に演奏すること—本作は語りや歌声によって一人一人の人生が強く、豊かに音楽とともに響きわたる作品です。

上映後はこの作品を撮った小森はるか監督と、震災後に東北記録映画三部作を作り、『ドライブ・マイ・カー』でカンヌ国際映画4冠、アカデミー賞国際長編映画賞を受賞して歴史的快挙を遂げた濱口竜介監督をお招きし、ドキュメンタリー映画の魅力に深く迫るイベントを企画しました。司会は映画研究者の北村匡平准教授がつとめます。ぜひ、ご参加ください。

小森はるか（映像作家）

1988年静岡生まれ。映像作家。瀬尾夏美（画家・作家）とのアートユニットやNOOKのメンバーとしても活動。2011年以降、岩手県陸前高田市や東北各地で、人々の語りと風景の記録から作品制作を続ける。現在は新潟在住。代表作に『息の跡』（2016年）、『空に聞く』（2018年）、『二重のまち／交代地のうたを編む』（2019年/瀬尾夏美と共同監督）がある。

濱口竜介（映画監督）

1978年神奈川県生まれ。映画の助監督やTV番組のADを経て、『親密さ』（2012）、『不気味なものの肌に触れる』（2013）、『寝ても覚めても』（2018）などを手掛ける。2021年、村上春樹の短編小説を映画化した「ドライブ・マイ・カー」が再びカンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品され、日本映画で初となる脚本賞を受賞。第94回アカデミー賞では4部門にノミネートされ、国際長編映画賞を受賞した。

北村匡平（本学准教授）

1982年山口県生まれ。東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授。専門は映画学・表象文化論・メディア論。主な著書に『スター女優の文化社会学—戦後日本が欲望した聖女と魔女』（作品社）、『24フレームの映画学—映像表現を解体する』（晃洋書房）、『椎名林檎論—乱調の音楽』（文系春秋）などがある。

- ・本イベントは学内・学外問わず、どなたでもご参加いただけます
 - ・当日は直接デジタル多目的ホールにお越しください（17：30開場）
- 問い合わせ先：リベラルアーツ研究教育院 ilasym@ila.titech.ac.jp

